

教科	発行者名	教科書名	発行者番号
国語	教育出版	伝え合う言葉 中学国語	1 7
採 択 理 由	<p>各者とも、学習指導要領の目的や内容に基づいた内容となっている。 特に「教育出版」は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 取扱内容については、 「話すこと・聞くこと」については、第1学年では事実と意見を区別して話すこと、第2学年では構成や展開を考えて話すこと、第3学年では経験を整理し場に応じて話すことを学ぶ構成となっており、学習目標を達成できる内容となっている。 ○ 内容の構成・排列・分量等については、 7つ（第3学年は8つ）の大單元の中に「読む」と「書く」、あるいは「読む」と「話す・聞く」の領域を組み込み、各領域を均等に、系統的・発展的に学習できる構成がなされている。また、各領域とも幅広い言語活動を通して基礎・基本的な能力や思考力・判断力・表現力を育成できるように系統的な構成となっている。 ○ 使用上の配慮については、 学習意欲を高める工夫として、社会生活に活用できる言語活動を身に付ける「学びのチャレンジ」や、教材をきっかけに読書に親しむ態度を養うことができる「読んでみよう」を掲載している。 <p>このような理由から「教育出版」とする。（全会一致）</p>		
教科	発行者名	教科書名	発行者番号
書写	教育出版	中学書写	1 7
採 択 理 由	<p>各者とも、学習指導要領の目的や内容に基づいた内容となっている。 特に「教育出版」は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 取扱内容については、 硬筆と毛筆の関連について、毛筆の学習の後に「学習を生かして書く」として、第1学年では「竹取物語」、第2学年では「枕草子」「平家物語」、第3学年では「おくのほそ道」の冒頭文や俳句を書く活動を取り扱っている。 ○ 内容の構成・排列・分量等については、 書写学習の基礎・基本の習得場面と日常生活への活用場面で構成され、書く力を養い学習や社会生活に活用できる力を養う構成になっており、系統的・発展的な学習ができる。また、書写学習を通して思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習できる構成になっている。 ○ 使用上の配慮については、 書写の知識や日常生活での活用をわかりやすく示した「筆・墨・硯・紙について知ろう」「文字の変遷」「あの人が残した文字」「日本建築と書」と言った読み物を掲載しているほか、国語科との関連を図った教材を掲載しており、学習意欲を高める工夫がされている。 <p>このような理由から「教育出版」とする。（全会一致）</p>		

教科	発行者名	教科書名	発行者番号
社会 (地理)	教育出版	中学社会 地理 地域にまなぶ	1 7
採 択 理 由	<p>各者とも、学習指導要領の目的や内容に基づいた内容となっている。 特に「教育出版」は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 取扱内容については、 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、章末に、学習したことを比較し関連付けてまとめたり、説明したりする活動を位置づけるなど、知識・技能を活用する学習活動が取り上げられている。 ○ 内容の構成・排列・分量等については、 「世界の様々な地域の調査」においては調査結果の考察をまとめ、発表する学習の後に、「身近な地域の調査」において、身に付けたまとめ方を活用するなど、系統・発展的に学習できるような工夫がされている。 ○ 使用上の配慮については、 「読み解こう」や「ふりかえる」で、学習したことを文章でまとめたり説明する言語活動を位置づけるなど、知識・技能を活用し理解を深めるための活動が取り上げられている。 <p>このような理由から「教育出版」とする。(全会一致)</p>		
教科	発行者名	教科書名	発行者番号
社会 (歴史)	教育出版	中学社会 歴史 未来をひらく	1 7
採 択 理 由	<p>各者とも、学習指導要領の目的や内容に基づいた内容となっている。 特に「教育出版」は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 取扱内容については、 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、「学習のまとめと表現」において、それぞれの時代の特色について考えたことを説明したりするなど、知識・技能を活用する学習活動が取り上げられている。 ○ 内容の構成・排列・分量等については、 歴史の学び方について学習した後に、時代区分毎に、時代の特色や歴史の流れについて学習するなど、系統的・発展的に学習できるよう工夫されている。 ○ 使用上の配慮については、 日本の歴史を世界の動きと関連付けて学習できる年表を掲載している他、学習項目を深めることができるよう、巻頭に「歴史のなかの言葉」、巻末に「各地の遺跡・史跡・できごと」を掲載している。 <p>このような理由から「教育出版」とする。(全会一致)</p>		

教科	発行者名	教科書名	発行者番号
社会 (公民)	教育出版	中学社会 公民 ともに生きる	1 7
採 択 理 由	<p>各者とも、学習指導要領の目的や内容に基づいた内容となっている。 特に「教育出版」は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 取扱内容については、 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、各領域の「さらにステップアップ」において、言語活動を通して表現するなど、知識・技能を活用する学習活動が取り上げられている。 ○ 内容の構成・排列・分量等については、 「現代社会と私たちの生活」において、社会をとらえる見方、考え方の基礎を学習した後に、政治・経済を排列し、系統的発展的に学習する工夫がされている。 ○ 使用上の配慮については、 学習意欲を高め主体的に学習に取り組むことができるような工夫については、各章の導入に、見通しをもたせる「はじめに」のページを設けたり、小单元ごとに学習課題に関連づける見出しをつけているほか、「読み解こう」「公民の窓」「ふりかえる」を設け、学習が深められるように工夫されている。 <p>このような理由から「教育出版」とする。(全会一致)</p>		
教科	発行者名	教科書名	発行者番号
地図	帝国書院	中学校社会科地図	4 6
採 択 理 由	<p>各者とも、学習指導要領の目的や内容に基づいた内容となっている。 特に「帝国書院」は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 取扱内容については、 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、巻頭の「地図帳の使い方」において、オセアニア州の資料図とグラフを関連づけてオーストラリアの自然や産業の特色を考えさせるなど、知識・技能を活用する学習活動が取り上げられている。 ○ 内容の構成・排列・分量等については、 基本図により諸地域を大観する学習の後に、環境問題や各地域の自然などを示した資料図を、考察する主題や生徒の興味・関心に応じて選択できるよう構成し、発展的に学習できるような工夫がされている。 ○ 使用上の配慮については、 学習意欲を高め主体的に学習に取り組むことができるような工夫については、北海道についての興味・関心を高めることができるよう、アイヌ語地名やロシアとの国境の変遷の資料図を掲載している。また、歴史的な分野や公民的分野でも活用できるよう、主な歴史地名や国際機関への参加国を地図上に示している。 <p>このような理由から「帝国書院」とする。(全会一致)</p>		

教科	発行者名	教科書名	発行者番号
数学	教育出版	中学数学	1 7
採 択 理 由	<p>各者とも、学習指導要領の目的や内容に基づいた内容となっている。 特に「教育出版」は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 取扱内容については、 知識・技能の習得、活用、探究への対応では、「確かめの補充問題」を多く設定している。また「ジャンプ」「チャレンジコーナー」「数学の広場」「自由研究」などにおいて、発展的学習や課題学習に取り組みやすくなるよう設定し対応している。 ○ 内容の構成・排列・分量等については、 第1学年では、等しい関係を式で表す学習の後にわかっていない数量を文字で表した方程式を扱う問題、第2学年では2直線が交わったときにできる角を調べる学習の後に辺や角に着目した三角形の合同の学習、第3学年では円周角の定理やその逆を使って図形の性質を理解した後に三平方の定理の問題を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。また、北海道に関する内容を多く取り上げ、興味関心を高める工夫をしている。 ○ 使用上の配慮については、 主体的に学習に取り組む工夫については、既習事項を確認できる「戻って確認」を設け、また興味・関心に応じて取り組むことのできる「チャレンジコーナー」を設定している。 <p>このような理由から「教育出版」とする。(全会一致)</p>		
教科	発行者名	教科書名	発行者番号
理科	教育出版	自然の探究 中学校理科	1 7
採 択 理 由	<p>各者とも、学習指導要領の目的や内容に基づいた内容となっている。 特に「教育出版」は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 取扱内容については、 第1学年において、池の中に住む微小な生物の観察についてのレポートを作成するなど、知識・技能を活用する学習や、粒子の運動と温度との関連について理解するなどの発展的な学習が取り上げられている。 ○ 内容の構成・排列・分量等については、 第1学年において「大地の成り立ちと変化」では、火山と火成岩を続けて学習した後に地震についての学習を扱い、その後に大地の歴史と地層としてさまざまな地層や堆積岩、化石について学習し、系統的・発展的に学習できるような工夫がされている。 ○ 使用上の配慮については、 コラムの「ハローサイエンス」や「歴史」において、身近なことについて科学的に考える内容や、科学者の発明・発見を取り上げたり、日常に使われている理科を写真で紹介するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がされている。また、巻末には、どの学年にも自由研究のやり方や、実験器具の使い方、理科で扱う算数、数学などがあり、発展的学習に興味や意欲を高める工夫、知識や技能の整理にも役立つように工夫がされている。 <p>このような理由から「教育出版」とする。(全会一致)</p>		

教科	発行者名	教科書名	発行者番号
音楽	教育出版	中学音楽 音楽のおくりもの	1 7
採 択 理 由	<p>各者とも、学習指導要領の目的や内容に基づいた内容となっている。 特に「教育出版」は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 取扱内容については、 創作については、身近な言葉のリズムや日本語の抑揚を活かした旋律づくりやCMソングといった生活に直結した題材を通し、表現の技能を伸ばし、創意工夫して表現できるように配慮されている。 また、書き込みできる欄が増えており、ワークシートの役割も果たすことができる。 ○ 内容の構成・排列・分量等については、 斉唱や簡単な重唱を通して、曲の構成や音の重なりなど音楽の要素をとらえる学習の後に、混声合唱を通して、曲想や曲の内容を味わいながら歌唱する学習を扱う等、系統的・発展的に学習できるように工夫されている。 また、教材の配列がテーマごとにまとめられていて使いやすい。 ○ 使用上の配慮については、 著名な演奏家や演出家の写真とメッセージを巻頭に位置付けたり、ポピュラー音楽のそれぞれの時代を代表する音楽家や演奏家の写真を掲載し、また、北海道とかかわりのある内容が多く取り上げられており、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 このような理由から「教育出版」とする。(全会一致) 		
教科	発行者名	教科書名	発行者番号
器楽	教育出版	中学器楽 音楽のおくりもの	1 7
採 択 理 由	<p>各者とも、学習指導要領の目的や内容に基づいた内容となっている。 特に「教育出版」は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 取扱内容については、 知識・技能の習得・活用・探究への対応については、構え方や奏法等の写真や図を参考にして楽器の奏法を身に付けたり、楽器ごとに簡単な独奏や二重奏を演奏したりするなど、基礎的・基本的な知識・技能を習得することができるようになっている。 ○ 内容の構成・排列・分量等については、 和楽器やリコーダー、ギター、打楽器などの基礎を学習する活動や簡単な楽器を演奏する活動の後に、様々な演奏形態による合奏を行う活動を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がされている。また、生徒自ら基礎的な奏法を身に付け、それを活かした表現ができるよう、内容の進度を緩やかに設定している。 ○ 使用上の配慮については、 ギターのコードやタブ譜、リコーダー運指標を掲載して、確認しながら演奏することができるようにしたり、リコーダーではアルトのみ、ソプラノのみ、併用と全ての授業で使用できるように工夫されている。また、取り扱う楽器や合奏形態ごとにページの色分けをしたり、判別しやすいレイアウト、文字の大きさにするなど、使用上の便宜が図られている。 このような理由から「教育出版」とする。(全会一致) 		

教科	発行者名	教科書名	発行者番号
美術	開隆堂出版	美術	9
採 択 理 由	<p>各者とも、学習指導要領の目的や内容に基づいた内容となっている。</p> <p>特に「開隆堂出版」は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 取扱内容については、 巻末に、光や色彩などの基本的な知識をまとめた「色彩ホームページ」が設けられ、それぞれの題材ページの下に参考として示され、基礎・基本の習得と創造的な技能が発揮されるための配慮がされている。 ○ 内容の構成・排列・分量等については、 生徒の実態や地域、各学校の特性を生かした指導計画の構成がしやすいような題材が随時、設定されている。また、豊富な資料とともに効率よく学習が進められるように配慮されており、表現と鑑賞、基礎と発展が相互に関連して配列され、無理なく学習が進められるように構成されている。 ○ 使用上の配慮については、 魅力的な生徒作品が大きく掲載され、発想や構想を促すヒントなどの数や見通しをもって活動できるような箇所が多く掲載され、主体的な学習を促すよう工夫されている。また、各題材で大切にしたい学習活動や、その題材を通して生徒に育てたい力を解説文でわかりやすく示し、各題材の末尾に自己評価の観点を「ふりかえり（4観点）」として簡潔な文章で示されている。 <p>このような理由から「開隆堂出版」とする。（全会一致）</p>		
教科	発行者名	教科書名	発行者番号
保健体育	東京書籍	新編 新しい保健体育	2
採 択 理 由	<p>各者とも、学習指導要領の目的や内容に基づいた内容となっている。</p> <p>特に「東京書籍」は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 取扱内容については、 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、保健分野において、危険を避け、安全を確保するために、それぞれの自然災害の危険を知り、事前の備えや避難の方法を考える活動、体育分野において、オリンピックに参加した選手数の推移や女性の参加に関する歴史、開催都市の変化を考える活動が取り上げられている。 ○ 内容の構成・排列・分量等については、 保健分野において、小学校で学習した思春期の体の変化を振り返る学習の後に、ホルモンの働きや生殖機能の発達を取り上げ、体育分野において、第1学年で学習した運動やスポーツの必要性を踏まえ、体力向上や運動技能の維持・向上、各器官の機能の発達を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がされている。 ○ 使用上の配慮については、 巻頭でブレインストーミングやロールプレイングなどの学習方法や留意点を掲載したり、一単位時間の学習内容のキーワードや解説を掲載したりするなど、使用上の便宜が図られている。 <p>このような理由から「東京書籍」とする。（全会一致）</p>		

教科	発行者名	教科書名	発行者番号
技術	東京書籍	新編 新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る Technology	2
採 択 理 由	<p>各者とも、学習指導要領の目的や内容に基づいた内容となっている。</p> <p>特に「東京書籍」は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 取扱内容については、 「Bエネルギー変換に関する技術」において、基礎・基本的な知識及び技能の習得、活用、探究への対応として、エネルギーの有効利用の方法や仕組み、機器の保守点検について学び、技術を利用した製作品を作る活動を取り上げている。また、技術と社会や環境との関わりについての理解、技術を適切に評価・活用する能力への対応として、発電構成割合を考えたり、エネルギー変換に関する技術を環境、経済、社会などの側面から比較したりする活動を取り上げている。 ○ 内容の構成・排列・分量等については、 学習内容を 14 の題材（43 の小題材）で構成するとともに、各編について、4 つの内容に関する基礎的・基本的な知識を習得した後に、制作や実習を行い、技術の適切な評価・活用を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がされている。また、大きさは A B 版であり、見開き頁の左右両端に、図表・写真・資料等を多く掲載し、視覚に訴える工夫がされている。 ○ 使用上の配慮については、 複数の実習例を示したり、「～よう」マークで始めやまとめの活動を示しており、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がされている。 <p>このような理由から「東京書籍」とする。(全会一致)</p>		
教科	発行者名	教科書名	発行者番号
家庭	東京書籍	新編 新しい技術家庭 家庭分野 自立と共生を目指して	2
採 択 理 由	<p>各者とも、学習指導要領の目的や内容に基づいた内容となっている。</p> <p>特に「東京書籍」は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 取扱内容については、 「D身近な消費生活と環境」において、基礎的・基本的な知識及び技能の習得、活用、探究への対応として、日頃の購入の仕方を振り返り、消費者としての自覚を高め、商品の適切な選択や購入などの消費のあり方について考える活動を取り上げている。また、家庭の機能についての理解、これからの生活をよりよくしようとする能力と態度への対応として、消費者として主体的に行動できるように、消費者トラブルを解決する方法について理解を深め、エネルギー消費を減らす方法について考えたり、よりよい消費生活と環境について話し合ったりする活動を取り上げている。 ○ 内容の構成・排列・分量等については、 日本各地の郷土料理や地域の食材を活用した調理実習を取り上げ、生徒の興味・関心や地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるような構成するなど、発展的に学習できるような工夫がされている。 ○ 使用上の配慮については、 食品の概量を手ばかり、目ばかりで示したり、幼児の靴や箸を実物大の写真で示したりするなど、学習内容についての課題意識や興味・関心を持たせるようになっている。 <p>このような理由から「東京書籍」とする。(全会一致)</p>		

教科	発行者名	教科書名	発行者番号
英語	教育出版	ONE WORLD English Course	17
採 択 理 由	<p>各者とも、学習指導要領の目的や内容に基づいた内容となっている。</p> <p>特に「教育出版」は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 取扱内容については、 全体としては、基礎的な知識・技能の習得と、それらを活用して表現するための Task や Project などの活動を通して、コミュニケーション能力の基礎を育成していく内容となっている。また、題材については、中学生の興味・関心の高い話題・内容を多岐にわたって取り上げ、異文化や日本の伝統文化を尊重し、生命・環境・福祉・平和・人権などについて考えさせる題材、または英語で生徒が発信できる内容が取り上げられている。 ○ 内容の構成・排列・分量等については、 第1学年では小学校の外国語活動で学習した挨拶をしたり、身近なものを英語で言ったりするなどの内容をふまえ、第2学年では自分の気持ちを交えながら話したり、自分がしたいことを説明したりする。第3学年では1, 2学年で学習したことをふまえ、これまで経験したことを説明したり、人や物について詳しく説明する内容となっており順序性に配慮されている。 ○ 使用上の配慮については、 英語の歌を取り上げたり（全学年）、Time for a Skit では特定の場面でよく使われる表現をスキットとして取り上げている。また目標を明確にして CAN-DO-LIST に対応した評価ができるよう工夫されている。 <p>このような理由から「教育出版」とする。（全会一致）</p>		